

平成 26 年度 文学部プロジェクト研究 研究活動報告書

	職名	教授	氏名(代表者)	出村和彦	配分額	800,000 円
プロジェクト名	〈貧困社会〉概念とその実態に関する学際的研究					
目的と活動の概要	<p>[研究の目的]</p> <p>本プロジェクトは、平成 26 年度文学部公開講座に連動する形で、近年注目を集める〈貧困社会〉を文学、歴史、思想史、社会学といった様々なディシプリンを用いて解明することを主な目的とする。その際、各領域で論じられる〈貧困社会〉の特質は決して画一的ではない。何をもって〈貧困社会〉と見なすのか、という概念レベルでの検討をし、学際的アプローチから幅広い時代・地域に現出する〈貧困社会〉を扱うことにより、現在我々が直面している貧困問題の諸課題を複眼的に捉え直すアクチュアルな意義を見出すことを目指すものである。</p> <p>[活動の概要]</p> <p>9 月 4 日と 10 月 8 日の 2 回にわたって研究会を開催し、関係教員は各々の資料調査・フィールドワークに基づいた研究内容を報告し、議論を行った。そしてこれを梃子にして、個別研究を推進するとともに、平成 26 年度文学部公開講座を担当して本プロジェクト研究成果の一端を市民に還元した。</p> <p>[成果と今後の展望]</p> <p>■成果 (論文その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中谷ひとみ「^{スーパー・リッチ}超 富豪 転じて ^{スーパー・プア}極 貧 の生き直しと身体のコマンティシズム—Don DeLillo, <i>Underworld</i> (1997) と <i>Cosmopolis</i> (2003) をめぐって」『岡山大学文学部紀要』第 61 号, 2014 年, 35-45 頁 ・佐々木守俊「密教絵画から彫刻へ—曼荼羅・図像の請来と彫像化—」伊東史朗責任編集『日本美術全集 第 4 巻 密教寺院から平等院へ』, 小学館, 2014 年, 183-189 頁 ・高谷幸「グローバル化のなかの福祉社会」宮島喬・佐藤成基・小ヶ谷千穂編『国際社会学』有斐閣, 2015 年, 96-113 頁 ・大貫俊夫「書評 ジャイルズ・コンスタブル (高山博監訳)『12 世紀宗教改革: 修道制の刷新と西洋中世社会』『史苑』第 75 巻 2 号, 2015 年, 426-433 頁 <p>(研究発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DEMURA Kazuhiko, 'Death and the Cross in Augustine of Hippo,' Asia Pacific Early Christian Studies Society, The 9th International Conference, 2014 年 9 月 5 日, 東洋英和女学院大学 (横浜校地) <p>(市民向け講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度文学部公開講座「〈貧困社会〉への多様なアプローチ」全 5 回 (9/30-11/1) 受講登録者 58 名 第 1 回 佐々木守俊「〈貧困社会〉救済事業としての文殊菩薩像造立」／第 2 回 中谷ひとみ「アメリカ現代小説に描かれた貧困と希望」／第 3 回 大貫俊夫「中世ヨーロッパ社会の〈貧困社会〉とキリスト教修道制」／第 4 回 高谷幸「在日外国人の生活からみる現代日本の〈貧困社会〉」／第 5 回 出村和彦「「貧者を愛する者」: 後期ローマ帝国での〈貧困社会〉への関わり」 <p>(本プロジェクト研究を基に新たに獲得した外部資金)</p> <p>科研費基盤研究(C)「古代末期における富と貧困に関わる「徳」理論の成立と変容」(H27-29) (研究代表者 出村和彦)</p> <p>科研費基盤研究(C)「ニューカマー外国人の高齢化: 高齢者予備層の戦略分析」(H27-29) (研究代表者 高谷幸)</p> <p>■今後の展望</p> <p>本年度までの研究活動により、貧困研究を A「老い、死、または子どもにまつわる〈貧困〉」、B「宗教者による〈貧困〉認識と貧民救済の実践」、C「外国人などの社会的・文化的マイノリティと〈貧困〉」の 3 テーマにまとめることができた。これらをさらに深める形で次年度も文学部プロジェクト研究を継続していく予定である。</p>					
	関係教員等 (代表者※印)	氏名	所属	職名	役割	分担
	出村和彦(※)	文学部 (哲学芸術学)	教授	西洋古代キリスト教倫理学	研究総括	
	中谷ひとみ	文学部 (言語文化学)	教授	アメリカ文学		
	大貫俊夫	文学部 (歴史文化学)	准教授	西洋中世修道院文化		
	佐々木守俊	文学部 (哲学芸術学)	准教授	日本中世仏教文化		
	本村昌文	文学部 (哲学芸術学)	准教授	日本近世儒学文化		
	高谷幸	文学部 (行動科学)	准教授	移住者、現代日本社会		